

H29 年度 愛臨技 微生物研究班基礎講座 アンケートまとめ

日時:平成 29 年 10 月 28 日(土)13:00~17:00

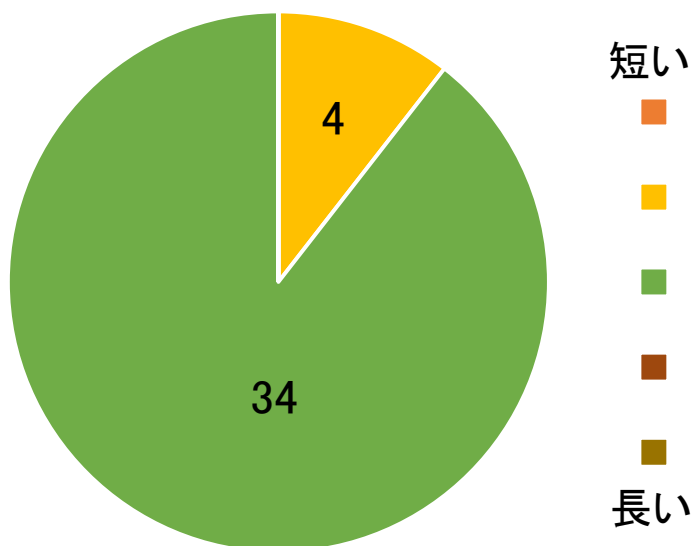
10 月 29 日(日)9:00~13:00

場所:名古屋大学医学部 基礎研究棟 第 1 講義室・実習室

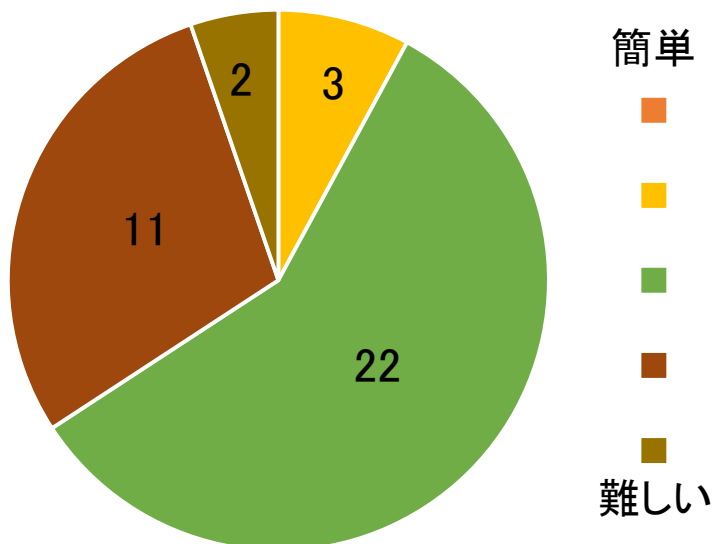
テーマ:耐性菌検出における PDCA サイクル ~作業は地味だが役に立つ!~

アンケート回収率:97.4%(38/39)

①講義の時間について



②講義の難易度について



③講義で良かった点

実習に必要な知識を簡潔にまとめてくださり、分かりやすかった

実際に自分で考えて確認試験ができて、必要なものとそうでないもの、足りなかったものがわかった。

耐性菌の機序、阻害剤などの整理ができた。

講義内容の流れが良く、理解しやすかった。

基本的なことから説明があった点。

基本的なことからわかりやすく説明されていて、次の実習でも役立つ内容でよかったと思いました。

実習で活用できる知識をカテゴリごとに説明していただけたので分かりやすかったです。

耐性菌について、基礎から知ることができて良かった。β-ラクタマーゼの分類がわかりやすく整理されて良かったです。

理解しづらいポイントをわかりやすく講義していただきました。講義時間もちょうど良かったです。

耐性機序と検査選択。

実習に必要な知識がわかりやすくまとめていただけていた点。

日常検査で出る耐性菌ということでイメージしやすく、また短くまとめられていてとても分かりやすかった。

短い時間で大切な内容がコンパクトにまとめられていた。

耐性菌の中で CRE や ESBL などの項目を分けていた点。とても分かりやすかったです。

基礎だったので分かりやすかった。

耐性菌について詳しく知ることができた点。

基礎から学べたので良かった。

段階ごとの講義で理解しやすかった。

ルーチン業務と同様の手順で実習ができた点

耐性菌についての説明がわかりやすかったです。スライドが見やすい。

PDCA について学べたこと。

各耐性菌が個別で詳しく解説されており、理解しやすかったです。

難しい内容であったが、次に行く実習に対応した内容であったので、分からないながらもスムーズに実習に取り組めた点。

耐性菌の基礎から説明していただき、ルーチン検査でも参考になるキレイな資料も頂けたので、良かったです。

判定のみではない、ディスクからの培養法を経験できた。

今までも耐性菌の講義を聞いているが、今回、ポイントがわかりやすかった。

各々講師がわかれていたので、集中して聞きやすかった。(1人で長く話すよりも良いと思った)

表などがわかりやすく説明していただけて良かったです。

テキストは、図や表が多かったので、実習わからないことを探すのに役立った。実技に必要な知識がわかりやすくまとめられていた。

耐性機構を1つずつ詳細に学ぶことができた。スライドを組み合わせて考えることで、さらに理解が深まった。

実際の培地の写真もあった為、イメージしやすかった。

基礎のところから説明していただいたので分かりやすかった。

まだ感受性を見始めて1週間程なので、知らないことが多く、今まで見てもわからなかったところが理解できるようになった。

耐性菌入り口から、AmpC、ESBL、CRE と少しずつ耐性がステップアップしていきわかりやすかった。最後の実習で実践編があり講義内容が復習できた。

基本的なことを説明していただけたので、実習に取り組みやすかったです。

ポイントが分かりやすかった。スライドが見やすかった。

基礎から一つ一つを詳しく解説してくれたのでよくわかりました。頭の整理ができた。

実習で実際に行う為に必要な知識と判定、報告、対策と、こと細かく説明をしていただいたので良かったです。説明が分かり

やすかった。

④講義で難しかった点

普段やっていない検査もあつたりして、結果の見方や解釈を理解するのに時間がかかった。

耐性が多重になった時の検査の選択および判定

SMA、mCIM などの読み方(呼称)がすぐには分からず、何のテストのことをおっしゃっているのか理解するまでに時間がかかってしまった点。

自然耐性や遺伝子型が多様であること。

DDST の判定について。

普段やっていない検査の解釈。

全体的に難しかった。

判定法を事前に説明していただきたかった。

菌種よっての感受性パターンの目安。産生量依存。

ある程度理解していないと難しいと感じました。

業務ではキットを使用していたり、システムで検出している異常を自分で見つけるなど、経験不足で難しかった。

複数の耐性機構を持つ菌の説明を増やしてほしい。多重阻害試験の説明を増やしてほしい。

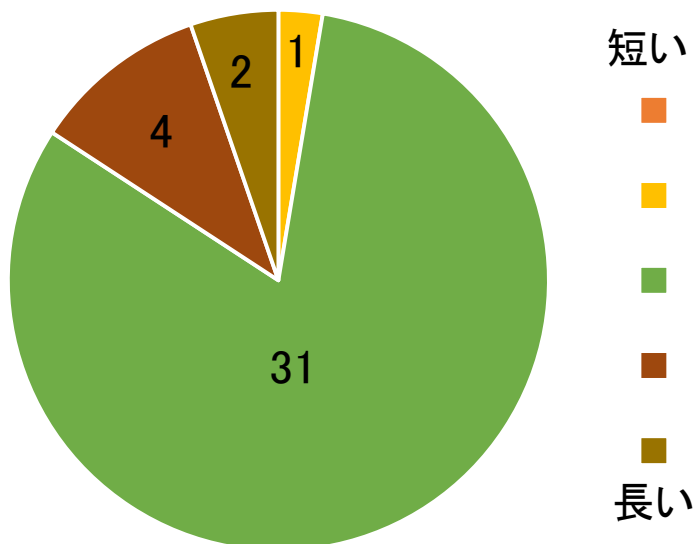
頭の中で、阻害剤と耐性菌の効く・効かないがまとまっていなかったので、覚えるのが大変だった。

初めて見る検査が多く、どの阻害剤がどのように働くのか、理解しながら進めていくのが難しかった。

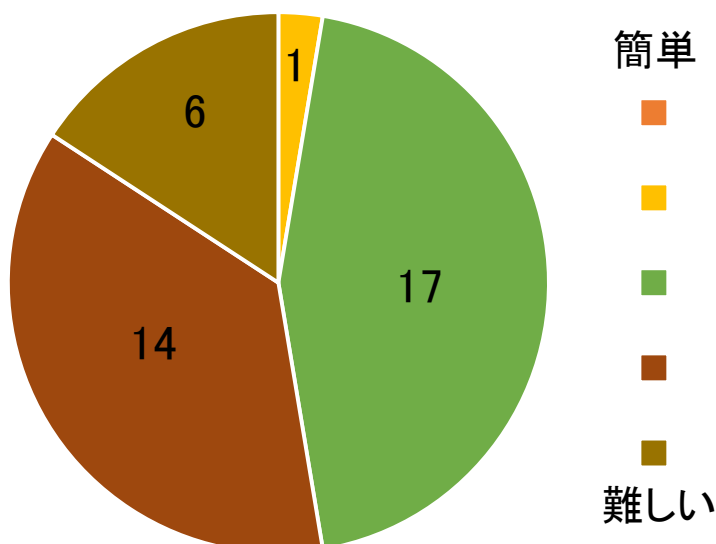
講義がやや早口であった。講義がやや短い？

内容が濃かったので、ついていけるかは自信がなかった。

⑤実習時間について



⑥実習難易度について



⑦実習で良かった点

実際に耐性機序を推定し、確認したことで、より理解を深めることができた

自施設ではなかなか出会えない症例の判定ができた。解説がとても分かりやすかった。

分からないところをすぐに聞くことができ、理解しながら進めることができた。

事前に用意されたものを観察するのではなく、初めから準備してそれを観察することができたので、分かりやすかった。

ISO や精度管理、他施設のやり方を聞くことができとても勉強になった。

自分で耐性機構を考えて、テストプランを立てて判定していく時間が充分取れて、耐性菌の理解が深まった。

他のスタッフへの説明も、少し自信をもってできるようになるかと思う

典型例ではない薬剤パターン(ESBL でも CFPM が S など)も実際あることなど、色々質問できて良かった。

実習時間を長くとり、ゆっくり考えながらできた点。

班員の方がそれぞれの机についてくれて、質問しやすい環境なのがとても良かったと感じました。

症例に対して自分で PCDA が実施できるプログラムであった点が良かったです。

いろんな症例の感受性パターンについて考えることができた。普段自施設ではあまりやらないディスク法までできた。

自施設では行っていないことを体験できて良かったです。

分からない点をすぐ聞くことができたので非常に良かった。

1 日中より 2 日間(半日ずつ)の方が体力的に疲労が少なく良いと感じた。

反応が実際に見られた点。日常行っていない検査をして確認できたこと。

普段自施設でやらない方法(ディスクの配置)を体験できた。ディスクの置き方シートは便利だと思った。

実務委員の方についていただけたので、疑問に思ったことをその場ですぐに質問し、解説していただけたのが大変良かったです。

常に質問しながら進めることができ、疑問もためることなくできた。

2 日にわたり実習に時間がとられており、自分で塗った培地の判定をすることができた。

班員の方がすぐ近くにいてくださったおかげで、分からないところをすぐ質問できた。

実務委員の方がつきっきりで見守ってくれたこと。

班員さんがたくさんいたので聞きやすい環境でよかった。

他の病院の人と交流ができた。

自施設ではできない検査ができて、今後取り入れる上でとても役に立った。

実務員の方が近くにいてすぐ聞けたこと。

普段見ることのない耐性菌についても実技を行えた点。

実際に自分で何の検査が必要か考えて、次の日の為に準備できたこと。

普段やっていないディスク試験のやり方や考え方を丁寧に教えてもらえたこと。

分からないことが聞きやすかったこと。

ルーチンではないような珍しい菌もあり、勉強になりました。

実際に起きた症例をもとにしてあるので、自施設で起こり得るのだという現実味のある実習ができた点。

配属半年の初心者にも丁寧に教えてくださった点。

班員さんがついて、分からないことは丁寧に教えて頂いたので、安心して実習できたとし、勉強になりました。

実習中に実務委員の方々に説明してもらい理解しやすかった。

実際の業務で行っていない方法や、検出したことのない菌株を直接実施できて良かった。

自分のやったもので測定できているので、日常の業務に活かしやすい。阻止円の見方が具体的にわかりやすかった。

直接判定に迷うところが気軽に質問できて良かった。

難しかったけど講義だけでなく、考えて実際にやることで理解が深まったと思います。実務委員の方が丁寧に説明してくれたので何とか出来ました。

とても丁寧に教えて頂きました。ありがとうございました。

疑問に思った点、考え方が分からない時に、すぐに聞くことができたため、実習がスムーズに進んだ。

実際に自分で行った感受性試験であったので、印象に残りやすいと思った。

実臨床に沿った解説であったので、気を付けなくてはいけない点を理解することができた。

院内ではやっていない検査を知れた。

実際に検出された菌を用いていたので、仕事に出てくるかもしれないと思って緊張感を持って実習できた。

すぐに質問できる環境であったので、疑問に感じたことをその場で解消することができました。

業務中では見たことのない菌も見れて、とても勉強になりました。

実務委員の方がたくさんいてくださり、質問しやすかった。

多くのパターンを経験できた。

実際の現場ではなかなか SMA、DDST などをしていないので、手技の確認ができて良かったです。

困ったとき、気になったことがある時にすぐに質問ができるおかげで、スムーズに実行でき、解決しました。

実際の現場でもあり得る菌ということだったので、意識が高まりました。

ディスクの配置図が分かりやすかった。

⑧実習で難しかった点

複数の耐性機構が存在する場合の考え方、解説を聞いて理解できるようになった

普段やらない検査の解釈、手技も戸惑った。

普段ディスク法をやっていないので難しかった。でも丁寧に教えて頂いて理解することができた。

普段のルーチンとは異なるディスク配置だったため、判定の理解に時間を要した点。でも有意義でした。

混合型を考えるのが難しかった。

行ったことのないことばかりで、全て難しかったです、丁寧に教えてくださりとても助かりました。

日常行っていない検査なので、結果の解釈がわからなくて苦労した。講義時もしくは実習前に少し解説があると良かった。

普段やらない分、多重阻害試験の理解(見方)が難しかった。

多重阻害試験などはやり慣れていない為、手順に少し混乱してしまった。

複数持ちの判定。

PBA など普段使用しないものを扱うのに苦労した。

阻止円や阻止帯の判定。

判定(いろんな耐性機序の時の判定例があると良かった。)

多重阻害試験は普段行っていないので、結果の解釈が難しかった。

薬剤感受性試験をまだルーチンで行っていないので、全体的に難しかった。

ルーチンで使用していないディスクの置き方だったので、初めてやり、難しかったです。

培地の枚数が多かった。

フォトの阻止円は見にくかった。

複数持っているものは難しかった。

やったことのない検査が難しかった。

複数の耐性機構を持つ感受性試験の考え方が難しい。

mCIM も実際にできたら良いと思った。

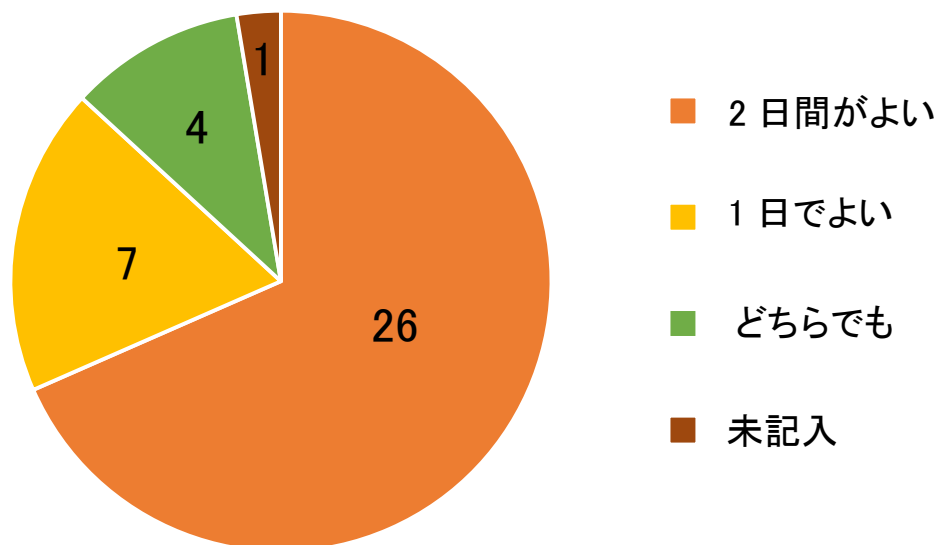
判定のやり方が分からなかったのが難しかったです。

多重阻害試験の結果を理解するのが難しかったが、教えてもらい理解することができて良かった。

混合の耐性菌を考えるのが難しかったです。

手技自体は常にフォローしていただけだったのであまり感じませんでした。結果の解釈も悩みました。もっと勉強します。

⑨開催日数について



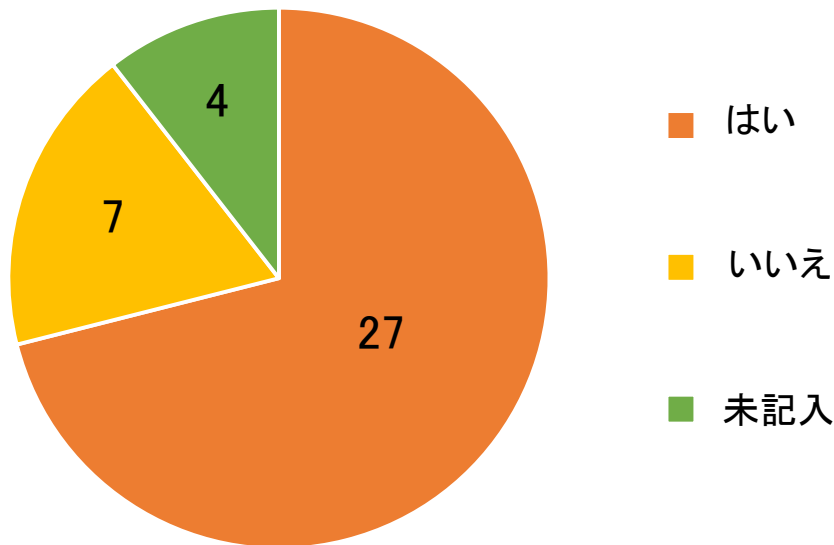
開催日数についてのコメント

- 2日間が良いが、業務の都合を考えると1日が良いかとも迷うところ。年度や内容によって変更してもいいのでは。内容によると思いますが、2日間が良い。
- 半日ずつなら2日間が良い。
- 内容にもよるので、どちらでも良い。
- 内容によるが、今回のように耐性菌実習は2日間が良い。

⑩次回の基礎講座に期待すること

- 嫌気性菌について、基礎知識から学びたいです。
- 今回のように、自分で行った結果が見られるのがいいと思います。
- 認定試験などの対策について
- 腸内細菌科以外の耐性菌についての講座もぜひ開催していただきたいです。
- 菌の同定に関すること。
- 二級試験の実技に関すること。
- 実習の解説を写真に示してほしい。
- また実習をつきつきりで見てください。
- 今回実施した菌以外の耐性菌について。
- GNR 以外の耐性菌について。
- 認定試験について(対策など)をお願いします。
- グループでディスカッションして、各班内でのコミュニケーションが取れる形式があったら良いと思います。(今回の実習では班内で個別に実習をしていた感があったので)
- 非発酵菌についても知りたいです。
- 今回の様に耐性菌に関する講義と実習があると、とても勉強になりました。
- 腸内細菌の耐性菌の研修会が多いので、非発酵菌や嫌気性菌などあるとうれしいです。

⑪申し込み時、自動返信メールはすぐ届きましたか



⑫その他

丁寧にご教授いただき、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。

JANIS の活用方法、他施設の試薬の使用状況。感染対策委員会の試料作製など。

プリントをファイルに挟んだ時に、上下逆になって見づらかったのが、印刷方向を確認していただけるとよかったです。

とても勉強になりました。ありがとうございました。

2日間ありがとうございました。

メールがうまく届かず、ご迷惑をおかけしました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

予備知識もたくさん教えてくれました。

分かりやすい説明をしていただき、2日間ありがとうございました。

分からないことも丁寧に教えてくださりありがとうございました。基礎講座の前よりも耐性菌の知識について深めることができました。